

第4回YOKOHAMA-SXIP 産官学連携人材育成セミナー

～産業のグローバル化に対応した人材と
その育成への産官学の取組～

主催

横浜国立大学YOKOHAMA-SXIP企画・運営委員会

共催

横浜国立大学国際戦略推進機構

2025年12月10日(水)

横浜国立大学中央図書館メディアホール



第4回 YOKOHAMA-SXIP 産官学連携人材育成セミナー

テーマ：産業のグローバル化に対応した人材とその育成への産官学の取組

YOKOHAMA-SXIPプログラムは、レジリエントな社会への変革をリードし、持続可能な未来社会を創造する SX (Sustainability Transformation =SX)人材育成のための教育プログラムです。今回4回目となる2025年YOKOHAMA-SXIP産官学連携人材育成セミナーでは、産業のグローバル化が加速する現代社会、そこで活躍が期待される人材像とその育成について、各界の識者に最先端の取組を講演頂き、今後の人材育成のあり方について議論します。

日 時：2025年12月10日(水)：午後1時25分～4時10分(対面・オンラインハイブリッド開催)

会 場：横浜国立大学中央図書館メディアホール(常盤台キャンパス内)：キャンパスマップの S3⑥
https://www.ynu.ac.jp/access/pdf/YNU_MAP_J.pdf

言 語：日本語

主 催：横浜国立大学 YOKOHAMA-SXIP 企画・運営委員会

共 催：横浜国立大学 国際戦略推進機構

参加費：無料

プログラム

13:25 開会あいさつ
横浜国立大学副学長(教育・国際担当)兼国際戦略推進機構長 田名部元成

<第一部：特別講演>

13:30-14:30 「日本の心—神道と書がつなぐ国際交流」
～大阪万博フランスパビリオンでの祭典を事例として～
神職・書家 木積凜穂(こづみりんすい)氏

14:30-14:40 休憩

<第二部：産官学の取組紹介>

14:40-15:00 「JSTにおける国際的な研究者育成の取組」
科学技術振興機構 国際部 企画調整・国際戦略グループ主査 川嶋悠太氏

15:00-15:20 「外国籍社員の採用と育成の取り組み」
artience 株式会社 グループ人事部 Global Support Unit 上村知香氏

15:20-15:40 「グローバル人材に求められる要件と大学における人材育成課題」
横浜国立大学 教育推進機構 教授 市村光之

15:40-16:00 YOKOHAMA-SXIP プログラムの紹介
横浜国立大学 工学院 准教授 中村一穂

16:00-16:10 閉会あいさつ
横浜国立大学 工学院 教授 吉武英昭

要旨

特別講演 「日本の心－神道と書がつなぐ国際交流」
～大阪関西万博フランスパビリオンでの祭典を事例として～3

木積 凜穂 氏 神職・書家

講演 1 「JSTにおける国際的な研究者育成の取組」12
川嶋 悠太 氏
科学技術振興機構 国際部 企画調整・国際戦略グループ主査

講演 2 「外国籍社員の採用と育成の取り組み」15
上村 知香 氏
artience株式会社 グループ人事部 Global Support Unit

講演 3 「グローバル人材に求められる要件と大学における人材育成課題」20
市村光之 横浜国立大学 教育推進機構 教授

木積凜穂プロフィール

1999年7月	凜穂会教場を開設
2005年8月	凜穂会書作展開催
2006年10月	大阪水都ロマン木積凜穂書作展 京の残り香 modern 書 art in 御靈神社（初個展）
2007年5月	modern 書 art 木積凜穂書作展（京都法然院）
2007年6・9月	大阪市開平小学校生涯学習講師／演劇「アルバトロス」題字
2007年10月	modern 書 art 木積凜穂書作展（朝日新聞大阪本社アサコムホールにて）
2008年3月	「日仏交流150周年記念京都パリ姉妹都市盟約締結50周年記念スペシャルイベント」の 「ルーヴル美術館における[京都、大阪]関西の伝統美」にて、作品展示、 パンフレット揮毫、パフォーマンス
2008年6月	東京白金「エスピラル白金」において木積凜穂書作展開催。
2008年7月	大阪市中央区平野町「高宮画廊」において木積凜穂書作展開催。
2008年9月	リーガロイヤルホテルにて講演会「篆書で遊びませんか 絵のような文字たちの表情」
2008年11月	国際手書き文字 ART 展 文化創造俱楽部賞受賞
2009年1月	「国際手書き文字 ART 展」での受賞者が、中国政府組織「ハルビン書法家協会」より『荣誉賞』を受賞。
2009年4月	modern 書 art 木積凜穂書作展(キンシ正宗 堀野記念館)
2009年11月	フランスパリにて modern 書 art 木積凜穂書作展「愛一心を結ぶ」
2009年12月	大阪経済ミッションとパリ市役所の交流会にてパフォーマンス（エスマード・パリにて）
2010年5月	「鯉のぼり2010」に出品 日仏文化センター主催 ユネスコ・在フランス日本大使館後援
2010年6月	上海万博日本館 作品展示 上海万博文楽公演パンフレット ポスター 題字揮毫
2011年4月	「遊筆町家 凜穂」にてオープニング個展「紡ぐ」
2011年4月～12月	知の市場「modern 書 art 入門」講座開講
2012年7月	ケニア マサイ村 KISHERMORUAK OBAMA PRIMARY SCHOOL にて授業
2013年7月	フランス パリ ユベイユ補習校 にて授業
2014年11月	「心にのこる小倉百人一首」出版 嵐嶽嵐山文華館にて出版記念個展開催
2014年11月	東久邇宮文化褒賞受賞
2015年4月	東久邇宮記念賞受賞
2015年5月	パリ三人展
2015年11月	大阪芸術大学にて講演会
2016年11月	日本大学生産工学部にて講演会「modern 書 art は人の心を優しく包む」
2017年11月	ヘブライ大学【世界観光連携シンポジウム】（在イスラエル日本大使館後援）パフォーマンス
2017年11月	フランス サン・トゥアン教会 作品展示
2018年4月	河内国一之宮枚岡神社に作品『祓詞』奉納
2018年9月	神官階位取得
2018年10月	Centre C i vic Convent de Sant Agust i にて、プロジェクトフェニックス学術会議（日本国 国土交通省 観光庁 後援）講演『書道は日本を伝える心の文化』、パフォーマンス
2018年10月	モンセラート修道院付属大聖堂にて書作品奉納（モンセラート美術館所蔵）
2019年5月	東京都市大学にて講演会
2019年9月	第10回modern 書 art 木積凜穂書作展（東京日本橋 ひまわりギャラリー） 「凜穂の…気ままな散歩道」出版
2019年10月	プロジェクトフェニックス 創生神楽 ローマ教皇庁立音楽院劇場（パチカン）、Palagio di Parte Guelfa（フィレンツェ）にて書の奉納
2020年10月	日本液体清浄化技術工業会 外部アドバイザー就任
2021年2月	河内一宮枚岡神社に奉職
2023年5月	石切山手幼稚園書道指導
2023年6月	サンマリノ共和国 サンマリノ神社にて揮毫奉納
2023年10月	映画「親のお金は誰のもの 法定相続人」題字揮毫
2024年3月	枚岡神社にて 第11回modern 書 art 木積凜穂書作展「幽顯一如」
2025年4月	2025年大阪・関西万博 フランス館にて開所祭斎行
2025年10月	2025年大阪・関西万博 フランス館正面玄関にて閉所祭斎行



豊かで持続可能な世界を求めて

心を一つに「かんながら」…… 大阪・関西万博フランスパビリオンでの神事

【令和7年(2025)4月14日】

木積凜穂

(神職・書家)

令和7年(2025)大阪・関西万博で人気のフランスパビリオンは、オープニングセレモニーにおいて、神道の神事で祓い清められました。それは、大自然に生かされていることへの感謝と、未来永劫持続することができる社会への願いが、国境・民族を越えて、共有された瞬間でもありました。祭典を執り行つた、書家でもある木積凜穂氏に貴重なお話を伺いました。

令和7年(2025)4月14日、大阪・関西万博で多くの入場者を集めている人気のフランスパビリオン。このパビリオンでは、万博開幕時に神道の「清め」の祭典が執り行われました。

芸術の国フランスは文化意識が高いことで知られていますが、オープニングセレモニーを神道の神事で祓ひ清めたいと望まれたフランス関係者の精神には、改めて敬服いたします。

この祭典を執り行つた木積凜穂氏は神職でもあり、書家でもあります。日本人でただ一人、ルーブル美術館において書道の個展を開催した実績を持つ人物です。まさに天の計らいを感じさせるご縁でした。

化(リファイン)しなければ資源や環境もリファインできないという理念のもと、地球環境と人間精神の淨化を追求し、持続可能な社会を築くことを使命としています。

今回のフランスパビリオンのオープニングセレモニーは、私たち人が大自然に生かされていることを自覚し感謝し、地球上の命を敬愛し、全ての命の幸福を願う祭典として、斎主・木積凜穂氏は祈りを捧げました。それは国境・民族を越え共有され、深く浸透したアス氏と出会つたことからでした。

木積氏も立ち上げから関わるリファインホールディングスの「こここのリファイン事業」は、人の心を淨

木積氏に、お話を伺いました。



上／木積凜穂氏（右）とフランスパビリオン総監督であるジャック・メーレ氏。
下／フランスパビリオンのゴールドブック1P目にサインする木積凜穂氏。

フランス人に通じた神道の心

木積凜穂(こづみ・りんすい)
7歳から書道を習い、漢字五体と仮名を習得。1999年より教室を開設指導。書道を身近に感じてほしいとの思いから『modern書art』を創作。ルーブル美術館で日本人初書作展。ローマ教皇庁立聖音楽院劇場の舞台にて書を揮毫。モンセラート修道院付属大聖堂にて書作品奉納。(モンセラート美術館所蔵)へプライ大学学術会議にてパフォーマンス。サンマリノ神社(サンマリノ共和国)にて揮毫奉納。ケニアマサイ村で授業をするなど、書により世界の人々のこころをリファインしている。東久邇宮文化褒賞受賞。東久邇宮記念褒賞受賞。著書に『心にのくる小倉百人一首』『凜穂の…気ままな散歩道』。神官階位取得。河内一宮枚岡神社に奉仕。

「屋久島でベジット・イデエアス氏」と出会い、その年の10月に『あなたの書道アートが観たい』と突然お電話をいただき、リファインホールディングス本社で、私がプロデュースしたお茶室・応接室にご案内し、書をご覧いただきました。

この場所には、企業や銀行の経営者や大学教授など、日本を先導される方がたくさんいらっしゃいます。時には難しい話もありますし、まずはお茶室でお抹茶を一服し、ほっこりと心をほぐして



フランスパビリオンのオープニングセレモニー、樹齢1180年のオリーブの木を神籬にして、祭典を執り行う木積凜穂氏。



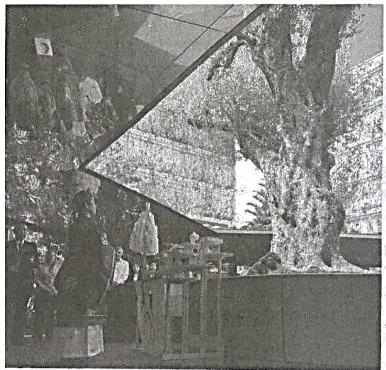
祭典を執り行う木積凜穂氏の後ろにはフランスパビリオン総監督であるジャック・メール氏。

『和合—WAGO—』第57号

いただき、良き形でお話が進むよう願いを込めました、とお話ししました。ベジット氏は『あなたのスピリットは素晴らしい!』と感動してくださり、書の『無為』と『心齋』にも深く感銘を受けたと、『すごくエネルギーとパワーを感じる』とおっしゃっていました。

お茶室の『心齋』は、心を清め純粹にすることを言い、応接室の『無為』は、現代は利己心と我の幸せも願つて、作為無く相手のことを大切に思つて行動してほしい、と願い揮毫したと説明しました。すると、ベジット氏から『大阪・関西万博のフランスパビリオンの庭園を担当しているので、あなたのハートを、書を通じて伝えるパフォーマン

スができますか』と尋ねられました。その後、会食をした時、私は自分が神職でもあることをお話ししました。神職は神様にお仕えする者ですが、神様というのは私の中では大自然。例えば、太陽も神様であり、日本では『天照大御神』という名が付けられているのだ、と。日本人は古代から不思議な力を神として称え、崇めてきました。家を建てる時も、



大阪・関西万博 オリーブが紡いだ 日仏の縁

神職・書家
木積凜穂

関西万博」のフランス館中庭で、「神事」がありました。主役は同国開本のオリーブの古木です。係者が「千寿オリーブ」と名付けたこの木は、「ミラクルガーデン」と題された庭園の中心に鎮座する象徴的な存在です。この日私は、開所にあつての「神事」を執り行いました。パリオノーブランディングという「晴れ舞台」に、神職が立つことは稀でしょう。しかも、

フランスからの招聘によるものでした。このような場が実現したのはフランス館に携わった皆様の解とご協力があってこそで、誠心誠意ご奉仕申し上げました。私としては日仏両国はもちろん、世界が一つになり調和できる機会にならばとの思いでした。

「千寿オリーブ」は、二〇〇五年、「ニナファーム」(フランス)が農園で発見した樹齢二三〇〇年を超える野生のオリーブ「ゼウ

「ス」をはじめとする日本の古木のうちの一本です。今回、フランス館の常設展示に参画したニナファームのベジット・イディアス代表が、パビリオン総監督のジャック・メール氏とともに展示の目玉の一つとして、日本に移送したのです。検疫上、土は剥ぎ取られ枝葉も刈られた状態で、来日しました。今回のプロジェクトについて、

る枚岡神社の中東弘宮司にご相談しました。中東宮司は神職の最高身分「特級」でいらっしゃいますから、様々な観点からのアドバイスを頂戴し、お陰様で日仏の心を結ぶ「神事」ができました。書作品はバビリオンのテーマ「愛の賛歌」から「愛」を、オリーブの名前から「千」を万葉仮名の祝詞で表現し、「寿」を草書で揮毫し、神前に奉ることにしました。

りてきて頂きました。「生きとし
生けるもの全ての命が幸せに生き
ていけますように」「フランスの
繁栄と、パビリオンを訪れるすべ
ての方々に、幸せが訪れますよう
に」「地球に元気が戻りますよう
に」という思いからです。私の内
側では、万博期間半年、二柱の神
様にはオリーブの木に宿つて頂
き、お書きを願いました。

一神教文化圏で、日本人と宗教
への向き合い方・捉え方が全く異
なりますが、皆さんも非常に興味
を持たれた様子でした。メール総
監督は、玉串奉奠の作法習得に、
幾度となく稽古を重ねられ、その
所作一つ一つに真摯なる敬神の念
が表れしていました。実際の式典で
は、その慎み深く整った所作の中
に、日本文化への深い敬意と、両
国の更なる友好と発展を願われる
真心が満ちていて、私の胸にも静

「つみ・りんすい」 七歳から書道を習い、一九九九年から「凜透会教場」で指導。書道を身近に感じてほしいと「Modern書道」を作成。書家として国内外で計十二回、個展を開催。「神官階位」を持ち、枚岡神社（大阪府）で神職として奉仕する。

いました。乳酸菌が専門の科学者でもあるベジット氏は、仕事柄の目の前に見えないものの関心が高く、敬意を払われる方でした。その人となりを知るうち、神道との親和性を感じたのです。

神道では、日々の生活の中で海や山、木や石などあらゆるものに目に見えない大きな力を感じ神様が宿ると考えています。子供の頃から「神様が見たはるよ」と言わされ育ち、木積家が神様にお仕えする家ということもあるのか、私自身、これまで常に、その存在を感じながら生きてきました。これは、神職に就くために必要な「階位」を取得したことにも大きく影響しました。

神道の「祓い」についてお話しするとベジット氏はそれをお望まれ、メール総監督らと協議し、実施が決まったのです。そうは言つ

「でもハビリオンは建設中です。『千寿オリーブ』を実際に見ることはできません。どんな木なのか尋ねたところ、こんな答えが返ってきました。

「私たちの木は二三〇〇年もの間、大地に根を張り、無数の生命とともに時に重ねてきました。この木の命は、過去から未来へと続く私たち人間の営みを映し出します。私たちの体には目に見えない微生物たちが宿り、命を支え、私たちを結びつけています。この長寿の木の下に、集いし人々が生命的つながりを感じ、未来への希望を見出すことを願います」

これを聞いて「御神木」と感じ、式典では神籠を用意するのではなく、オリーブの木に降臨して頂きたい」と直感しました。個人への依頼とはいえ、異例の「神事」ですから、普段お仕えす

261 オリーブが紡いだ日仏の縁

かに、しかし確かに感銘をもたらすものでした。

かに、しかし確かに感銘をもたらすものでした。

362

「正論」令和7年8月号

The Association of Liquid Filtration and Purification Industry



News Letter

日本液体清澄化技術工業会

Winter 2023

vol.102

神職として書家として 生きとし生けるもののために



生駒山の水源地の一つ枚岡神社は、広葉樹に覆われて豊かな水を生み出してきました。

昨年、水の神様を祀る若宮の美しいご本殿が350年ぶりに再建され、遷座祭に神職としてご奉仕させていただきました。そのコンコンと湧き出づる水が瀧となり、平安時代から禊場として氣枯れを祓い清め、修行者である私もその恩恵をいただく一人です。

先祖の供養をおつとめした後は、朦朧とし背中にのしかかるような重みは神の氣が枯れている証ゆえ、瀧に打たれます。すると先程までの重みは不思議と消え、神様からいただいたいる氣は元に戻り、水の靈力を思い知らされます。

朝の日課は神社参拝とお墓参り。ご神水をいただき墨を磨り、制作に没頭します。神職としても書家としても、水で清めることは必須であり、美しい水に恵まれている日本に生を受けたことに感謝が溢れます。

その水に覆われた美しい青い星は今、劣化の一途をたどり、傷ましい姿となっています。経済ばかりを追う人間が招いた結果です。このまま良いのでしょうか？

生きとし生けるものが幸せに生きていける地球に戻し、次世代へつないでいくのが私たち大人の成すべきことではないでしょうか。そのためすべきことは何でしょう？

一人一人が意識を変え、日常の小さなことを積み上げていかなければ地球は、より壊れていってしまうでしょう。

私は神職、書家として、慈しみの心を伝えていかなければならない使命があるのだろうと強く感じるのであります。長岡先生とのご縁をいただき、こうしてLFPIの皆様との繋がりは大きな力になるものと勇気をいただけます。

半世紀以上書道を続け、数知れない作品を生み出して思いますには、人の心に響く作品とは、常に自己の靈(たましい)を磨き、祓い清め、その相手の幸せを祈りつつ筆をもつ。それは波動となり、それぞれの小さな世界を変えることになります。それを点とするならば、数々の点を繋ぎ線とし、線から大きな輪になるよう力を尽くしてまいりたいと思います。

神職として靈をより磨き、神様と人の仲執り持ちとしてお役に立てるよう、また書家として人の心に寄り添い、励まし、支えることのできる作品を生み出し、日本の文化を伝えることができるよう精進してまいります。

まだまだ至らぬ小さな力ですが、真摯に丁寧に日々を重ねてまいります。ご指導いただけますようお願ひいたします。

2022年も屋久島に赴きました。山から湧き出る豊かな水が美しい苔を育み、私の心を癒してくれました。

弥栄。

LFPI外部アドバイザー

木
橋
淳
徳

一人一人が心豊かに暮らせる よう意識を持つていく

木積凜穂（書家）

「生きとし生けるものが笑顔で幸せに暮らせる地球を繋げるために、今、私たちは何をしないといけないのか？」というメッセージを込めて書かれた、笑顔のような「笑」の書100枚。河内国一の宮・枚岡神社に御奉納された祝詞、渦のように書かれた祝詞……。木積凜穂先生が生み出した作品たちは、それぞれが響き合い、人々の心を癒していきます。



第10回 modern 書 art 木積凜穂書作展

深く感じて、ときめいて…

＜リファインホールディングス（株）こころのりふあいん企画＞
日程：令和元年9月3日～9月16日
場所：ちばざんひまわりギャラリー（東京都中央区日本橋室町一丁目5番5号 コレド室町34階）

木積凜穂先生、「第10回 modern 書 art 木積凜穂書作展」会場にて。

西洋芸術に席巻されてしまった現代社会において、書にしても、絵画にしても、ひときわ強い個性を感じさせるものが主流になってしまった感があります。強烈な個性、前面に打ち出されている「我」。確かにそれらは人々をハッとするさせ、目を止めずにはいられないものではあります。

しかし、ずっと向き合つていると疲れてしまいます。「我」の強い人とずっと一緒にいると疲れてしまうようなものなのでしょう。

一方、自然界における個性は決して人を疲れさせるようなものではありません。自然界にもちゃんと個性というものはあって、草木にしてもまったく同じものは一つとしてなく、じっくり見ていくと一つ一つが違っています。それは、心地良い個性と言えるでしょう。

木積凜穂先生の一つ一つの作品における個性も、それに通じています。それぞれの作品には違った印象や味わいがあり、しつかり個性は主張しているのですが、決して観る者を疲れさせるものではなく、むしろ穏やかな気持ちにさせてくれます。例えるなら、自然の様々な花を観賞しているような感覚です。

一つの川が上流、中流、下流で景観が違うように、木積先生の作品も様々な表情を見せてくれるのです。

木積凜穂（こうみ・りんすい）
7歳から書道を習い、1999年より教室を開設指導。書道を身近に感じてほしいとの思いから「modern 書 art」を創作。日々、京の遊筆町家「凜穂」から書道の楽しさを届けている。2006年大阪御神社で初個展。2008年「日仏交流150周年記念京都パリ姉妹都市協約締結50周年記念スペシャルイベント」のルーヴル美術館における「関西の伝統美」パンフレット題字担当。ルーヴル美術館ナボレオンホールにて個展とパフォーマンス。2010年上海万博日本館に作品展示、上海万博文藝公演パンフレットのボスター題字を揮毫。2012年7月ケニアマサイ村にて授業。2014年東久邇宮文化褒賞受賞。2015年東久邇宮記念賞受賞。2017年ヘブライ大学、2018年スベインの学術会議とモンセラート修道院にて作品御奉納（モンセラート美術館にて）。2019年ローマ教皇庁立聖音楽院劇場にて作品揮毫。著書に「心にのこる小倉百人一首」「凜穂の『氣ままな散歩道』」。

内なる御魂に導かれ

今回の個展に際し、尊敬する方より頂戴したと
いう言葉と、木積先生自身の言葉がまさにその本
質を教えてくれます。

「河内国一の宮・枚岡神社にご奉納した書には、
自然に畏敬の念を抱かずにはいられませんでした。
一つの書が完成されるまでに、自分の内側の誠実
さと向き合う一貫性がいかに大事か。誰かからの
評価以上に、自己に正直であるか。妥協をせず、
自分を生きることの素晴らしさを、凜穂さんから
教えていただきました」

そして、木積先生自身はこう語っています。

「私を救い、支えてくれた書によって、世界中の皆
さんを癒し、励ましたとの想いは、13年前の初
個展の時から変わることなく、より大きく奥行き
のあるものとなりました。今回の作品たちには、
今まで以上に強い想いとメッセージを込めました。
一つの妥協もなく、全てが納得できる作品を創る
ため、日課のウォーキングは神社にお参りし、自分
自身を祓い清め、澄んだ美しい心でいれるよう心
掛け、御神水で墨をすり、制作に向かいました」

これらの言葉の中にるように、自己の内なる
誠実さと向き合い、自己に正直に、自分を生きる、
ということ、それは「我」を貫いて生きることと
は決断的に違います。「淨明正直」、まさに隨神
の道です。内なる魂、「分け御魂」の声にじつと耳
を傾けること。木積先生が神職資格を持ついらっしゃることとも関係があるのでしょうか、その作
品には確かに「分け御魂」の声、神様の存在が感
じられるのです。

「私の中にも神様がいらっしゃるから、このよう
な表現になるのだろうと思います。溢れ出る魂を



『和合-WAGO-』第34号

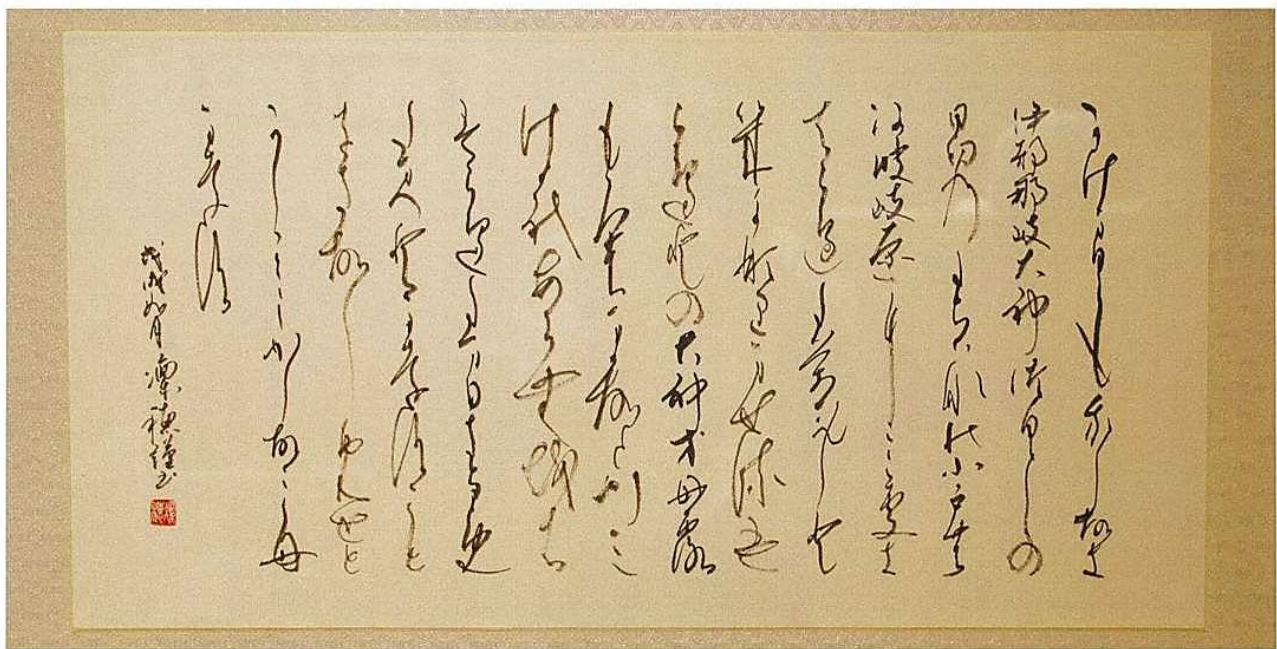
紙が全て受け止めてくれ、作品が生まれます。そして魂が宿るから、作品はエネルギーを発します。作品から語りかけられているような、こちらが語りかけたら、返事してくれるような、そういうキヤツチボールができるのです」

個展にいらつしやつた方々が、「作品を拝見して、自分の中の汚いものが消えていった気がします」「優しい気持ちになりました」「本当に『祓えた』という感じがします」といった感想を日々に伝えてくれたそうです。

「私にできることは書によって、人の心を癒すことです。少しでも心にゆとりを持ち、心豊かに暮らせるところに意識を持つてもらうこと。一人一人がそのように心のゆとりを持つようになつたら、他の人のことも考えられるようになります。自分のことでいっぱいいれば人のことなど考えられません。30年後、地球上の人口は100億人になるそうです。これから時代に心をきれいにすること、つまり『心のリファイン』はすごく大事なことであり、伝えていかないといけないことだと思います」

今年は、オリンピック・イヤーです。強烈な個性をアピールする、欧米的な「美」だけでなく、日本らしい自然な「心の美」を、世界に提案しても良いのではないかと感じます。

※『modern book art』は、日本の伝統文化である書道を身近に楽しんではほしいという思いから、絵のよな篆書をより絵画的に表現し、日常的に使うものに書きました。書は額や軸だけでは飾る場所にも限りがあるけれど、鞆のれん、Tシャツ、扇子など、日常生活の中に取り入れて楽しめる。温かく、優しく、わかりやすい……。皆様の心に届けば嬉しく思います。(木積凜穂)

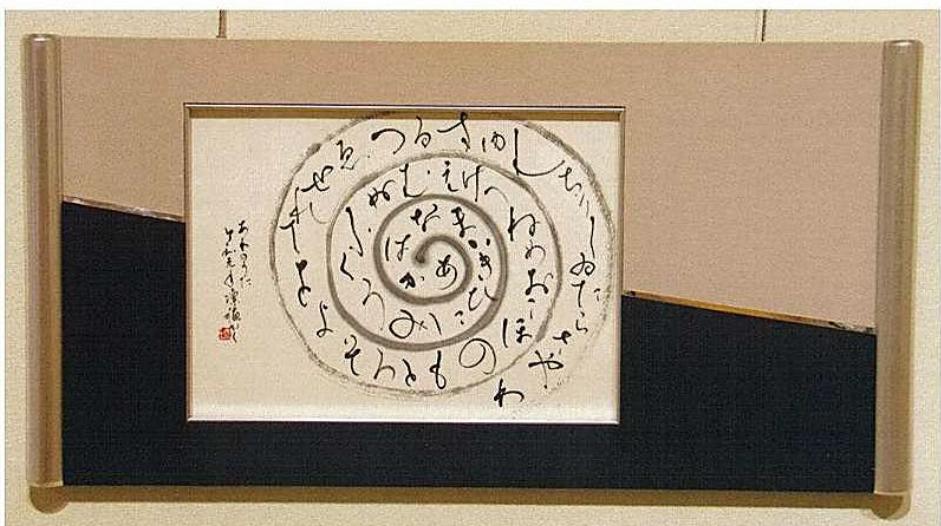


『祝詞』(河内国一の宮・枚岡神社ご奉納作品)



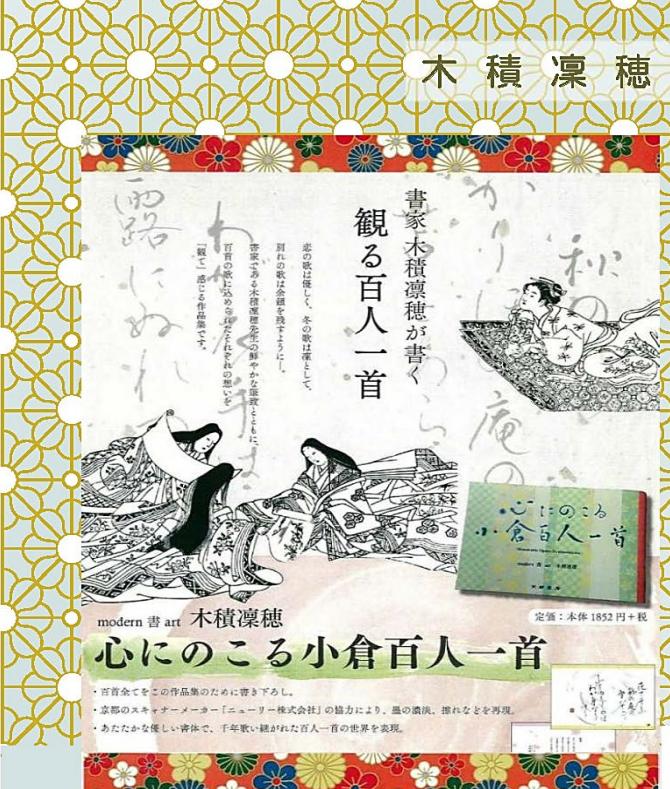
着物をコートに仕立て裏地に祝詞をしたためている作品等、書を身近に感じられる作品も多数展示されました。

『和合-WAGO-』第34号



『awano uta』

木積凜穂の書籍のご案内



心にのこる小倉百人一首

現代書art 木積凜穂

書家木積凜穂が書く
観る百人一首

恋の歌は寝て、冬の歌は寝とらず。
羽衣の歌は全國飛揚するうに。
帝室書院の木積凜穂が書いた
百人一首を、あなたがお読みになれる
「観る」百人一首。

定価：本体 1,852 円+税

QRコード

凜穂の…気ままな散歩道

2018年7月から1年間にわたり日刊工業新聞に連載されたコラムを収録。篆書作品に添えられた、その漢字の起源と意味を、書家活動や日々の暮らしのエッセイとともに綴った一冊。漢字の源の神話を伝える珠玉の53編。



木積凜穂
Rinbo no...
Ajiyashii散步道

日刊工業新聞社 税込：1,760 円

QRコード

人々が他を思いやりて心を結び、自然豊かな地獄に戻ることを祈って活動する。
心にゆとりをもち、支え合い、幸せな日々を生きられるよう、
その心を慰し廻しまし優しく包む書を創り出し、伝え広めることを使命とする。

漢字五体と仮名を書く実力派。書道を身近に感じてほしいとの思いから『modern 書art』を創作する。
ルーブル美術館で日本人初書作展／ローマ教皇庁立聖音楽院劇場（パチカン）の舞台にて書を揮毫。
モンサラート修道院付属大聖堂にて書作品／奉納（モンセラート美術館所蔵）
ヘブライ大学学術会議にてパフォーマンス／ケニアマサイ村で授業をする
など、書により世界の人々のこころをリファインしている。神官階位もちもつ。

木積 凜穂
ごづみ りんすい

Re:Sense
Let's refine your precious memory stylishly with 'modern 書art'

QRコード

第4回YOKOHAMA-SXIP産官学連携人材育成セミナー
- 産業のグローバル化に対応した人材とその育成への産官学の取組 -

JSTにおける国際的な研究者育成の取組

2025年12月10日

国立研究開発法人科学技術振興機構

国際部 企画調整・国際戦略グループ

川嶋 悠太

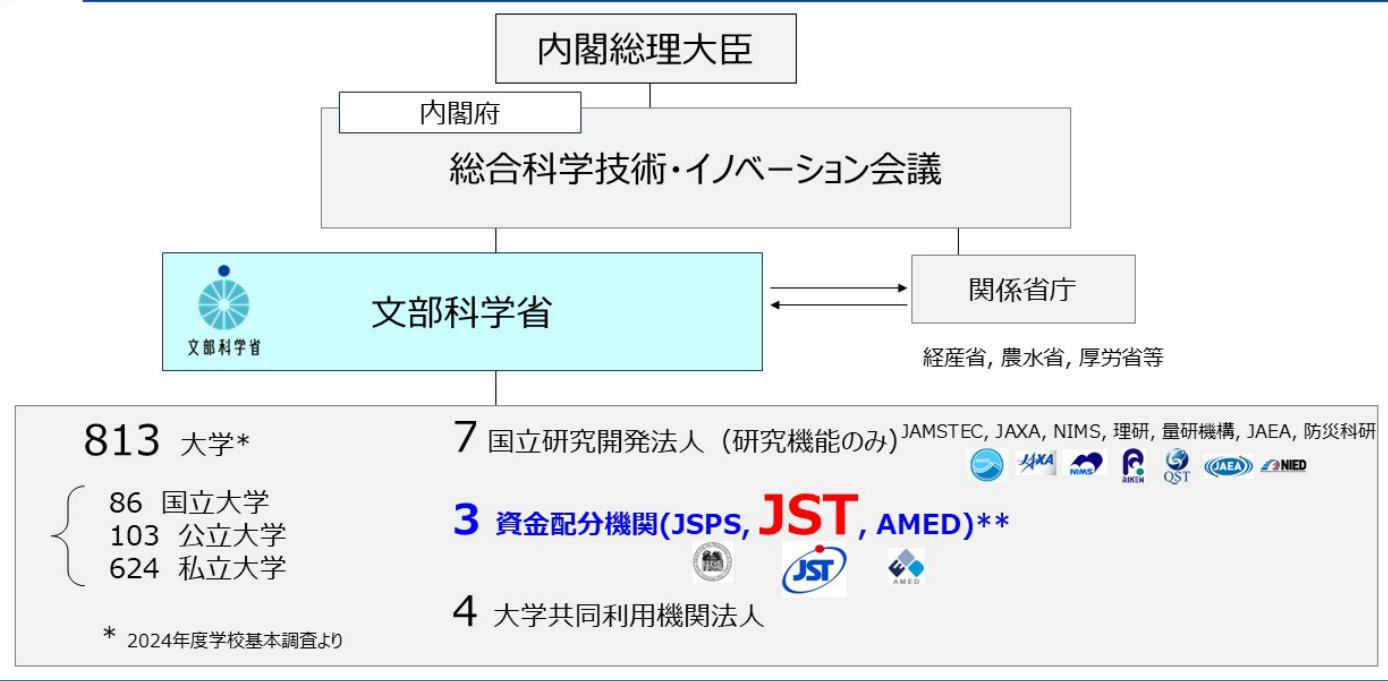
※個人の見解に基づく内容も含みます



目次

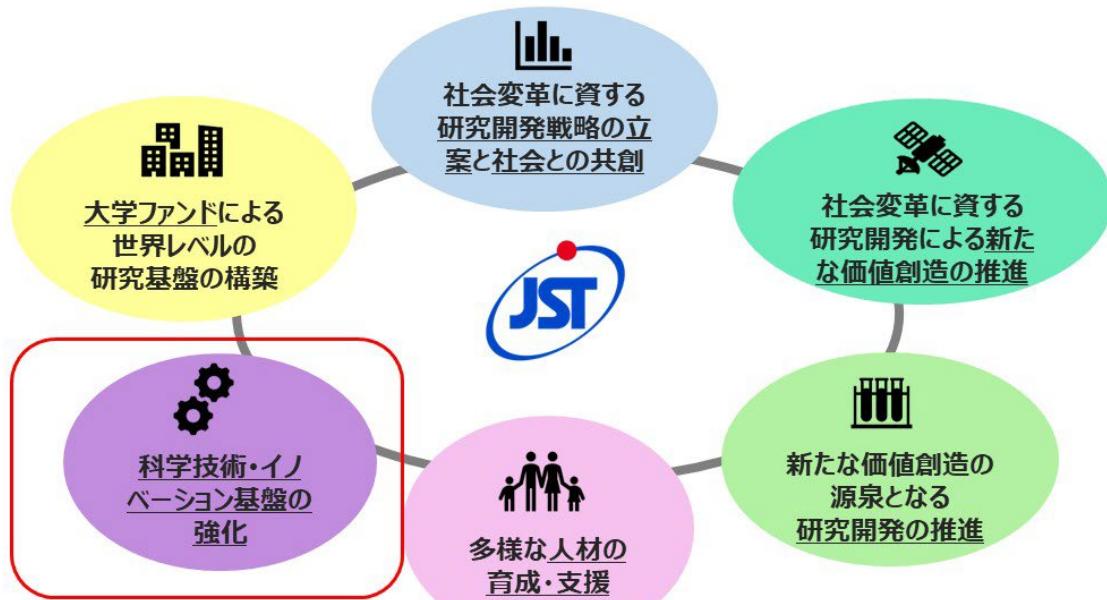
- 日本の科学技術イノベーション推進体制
- JST機構概要
- 国際的な研究者育成が必要な背景
- JST国際事業の紹介
 - ✓ ASPIRE
 - ✓ SICORP
 - ✓ SATREPS
 - ✓ NEXUS
 - ✓ その他

政府の科学技術イノベーション推進体制



JSTとは

JSTは、**科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割**を担う国立研究開発法人





国際情勢に伴う国際連携のあり方の変容

Slide 5

✓ 国際情勢の不確実化と複雑化

- ・深刻度を増す地球規模課題
- ・新興技術の急速な発展と社会へのインパクト
- ・国家間の対立激化

科学技術イノベーションは経済的競争力だけでなく持続可能性や安全保障においても肝要に



✓ 「デュアルトラック」の国際連携

- ・新興技術（AI、半導体、量子等）は同志国と連携
- ・地球規模課題への対応は地政学的ライバルも含む全世界での連携



JST国際事業

Slide 6

2008年度～

地球規模課題解決に向けた国際共同研究の推進

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム SATREPS

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

- ✓ 政府開発援助（ODA）と連携した国際共同研究の推進
- ✓ 新興国及び途上国との共同による地球規模課題の解決、科学技術イノベーションの創出
- ✓ キャパシティ・ディベロブメントや社会実装に向けた取組、科学技術におけるインクルーシブ・イノベーションの実践

2009年度～

外交上重要性の高いパートナー諸国や新興国との協力関係強化

戦略的国際共同研究プログラム SICORP

Strategic International Collaborative Research Program

- ✓ 政府間合意に基づく戦略的に重要な相手国・地域、研究分野において、イコール・パートナーシップの下、国際共同研究の推進
- ✓ 国際共通的な課題達成、諸外国との連携を通じた我が国の科学技術イノベーションの創出

2023年度～

国際頭脳循環の活性化及び
次世代の優秀な研究者の育成を推進



先端国際共同研究推進事業 ASPIRE

Adopting Sustainable Partnerships for Innovative Research Ecosystem

- ✓ 政策上重要な科学技術分野における我が国と科学技術先進国・地域のトップ研究者のネットワークを構築
- ✓ 我が国の研究コミュニティの国際頭脳循環を加速し、次世代のトップ研究者を育成

2024年度～

ASEAN諸国ニーズに応じた
柔軟かつ重層的な取り組みを推進



日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業 NEXUS

Networked Exchange, United Strength for Stronger Partnerships between Japan and ASEAN

- ✓ 共通重点分野等での国際共同研究を推進
- ✓ 高校生を含む若手人材の交流・育成を推進
- ✓ 既存拠点の体制・機能強化を含めた科学技術分野での協力の拠点を形成

artience

外国籍社員の採用と育成の取り組み

artience株式会社
グループ人事部 Global Support Unit
上村（かみむら）

2025.12.10

artienceグループの事業



Global Network

Products

Pg Pigments	PC Plastic colorants	LM Lithium-ion battery materials	DM Display materials
AD Adhesives	CC Con coatings	MD Metal-decorating inks	LI Liquid inks
OI Offset inks	IJ Inkjet inks		



20+

Countries or Regions

60+

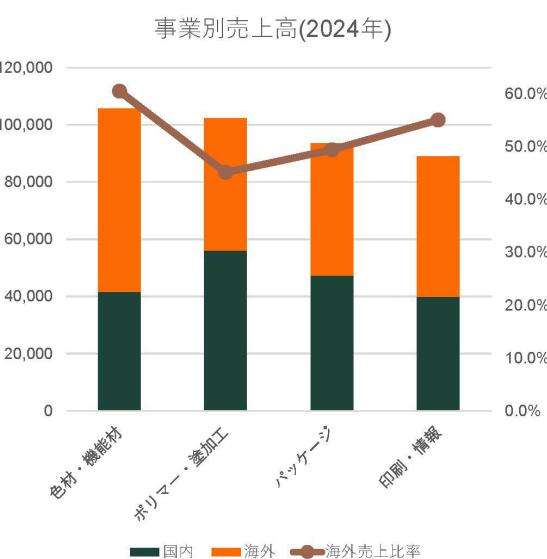
Companies

7,800+

Employees

3

ビジネスのグローバル化の現状



4

外国籍社員の採用と育成の取り組み

日本本社の役割の変化

今まで

- ・ 日本市場が中心
- ・ 海外でも日系企業が顧客、日本からの移転ビジネス

これから

- ・ 海外市場へシフト、ローカル企業やグローバル企業が相手
- ・ 現地発の製品開発

日本本社は「管理中心」⇒「知と戦略の中心」へ進化。
グローバル視点のリーダーシップと意思決定が求められる

現場からの人材のニーズ



現場

国籍問わず…

- 海外拠点のメンバーと円滑にコミュニケーションが取れる人材
 - 海外の顧客と対等に交渉ができる人材
 - 日本とは異なる文化を理解している人材
 - 越境(逆境)に強い人材
 - 多様な視点や発想力を持った人材
- が欲しい！

⇒日本一海外の架け橋になる、外国籍社員の採用が増加

7

外国籍社員の採用パターン

エージェント

- 日本で就業経験のある外国籍の方（即戦力）

ダイレクト リクルーティング

- 新卒) 日本の大学に在籍している留学生
- 新卒) 海外の大学に在籍している日本で働きたい学生
 - 海外大学と連携①: サマーインターン
 - 海外大学と連携②: リクルーティング @IITハイデラバード校

リファラル

- 社員からの紹介
- 新卒) 共同研究先の学生

8

日本人社員へのグローバル人材育成

海外ワークショップ

グローバルリーダーシップ研修

異文化コミュニケーション研修

語学学習補助

ミッショングローバル

赴任前研修

9

最後に）まだまだ課題はたくさんですが…

国籍問わず、多種多様な人材が活躍できる仕組みづくり

- ・受入部門の風土醸成、コミュニケーションスキル
- ・外国籍社員の中長期的なキャリア形成

10

(第4回SXIP産官学連携人材育成セミナー)

グローバル人材に求められる要件と 大学における人材育成課題



2025年 12月 10日

教育推進機構 学生IR統括部門 市村光之

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

いきなりで恐縮ですが…

海外で活躍できる人材に
最も必要な要件は？

1. 外国語運用力
(英語 and/or 現地語)
2. 信頼関係構築力
3. 課題解決力
4. 担当業務の知識・経験
5. 自国・対象国の知識、教養
6. 異文化適応力
7. 主体性

MediaPOT にアクセスし
ご回答ください

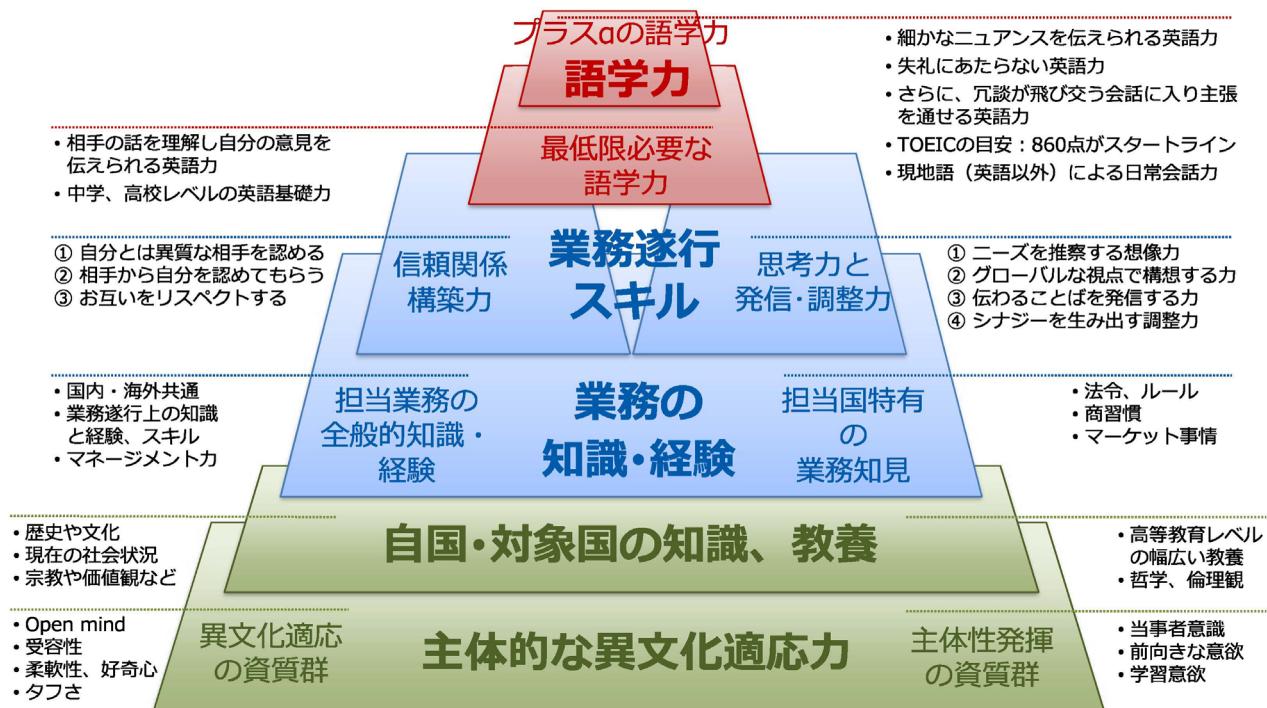
回答者の匿名性、情報の秘匿性が保証され
たソフトですので、ご安心ください



ビジネス上のグローバル人材要件の構造

主体的な異文化適応力が根幹。語学力はツールに過ぎない

(人材要件は3種6階層：資質と知識・教養 + 業務の知識・経験と遂行スキル+語学力)



M. Ichimura, YNU 2025

最低限 / プラス α の英語力

サバイバル : Too much!!

最低限 : We don't have that much money.

プラス α : Our budget is limited.

■ 最低限の英語力でも対応できるケース

- ✓ 人 : 30歳前後の駐在員、技術者やエンジニア
- ✓ 相手 : 社内の現地スタッフ
- ✓ 地域 : 英語を母語としない国

■ プラス α の英語力が求められるケース

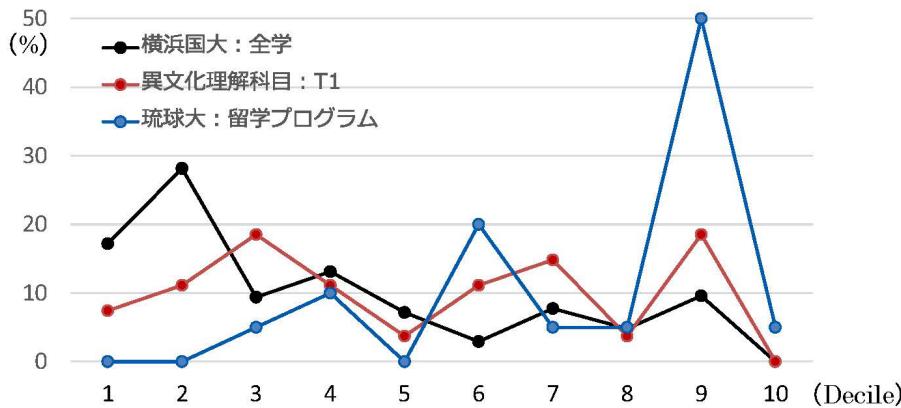
- ✓ 場面 : 対外折衝、議論、フォーマルな会合
- ✓ 相手 : 社外のマネージメント・経営層、政府機関
- ✓ 地域 : 英語を母語とする国

M. Ichimura, YNU 2025

異文化間能力の二極化傾向

- 一般の学生：多数派を占める無関心層と関心が高い一部の層とに**二極化**
 - 海外研修を伴わない異文化理解科目（27名）：一般学生と比べ、分布が右に移行している。留学等海外志向の学生も多く履修している
(出典：横浜国大 2022年秋学期全学教育科目「グローバリゼと日本人」担当教員：市村光之)
 - 琉球大留学プログラム（20名）：プログラム履修前から異文化を受容する準備ができている学生が多くを占めると推測できる
(出典：東矢光代, 當間千夏. (2019). 世界の捉え方にみる学習者の特性とクラス・ダイナミクス: BEVIの結果に基づく分析, 琉球大学国際地域創造学部国際言語文化プログラム, 23-45)
- 意識の低い層の、いわば底上げがグローバリゼ人材育成のより本質的な課題

尺度17 : Global Resonance (異文化への関心、受容性)



M. Ichimura, YNU 2025

横国生の無関心、内向き傾向

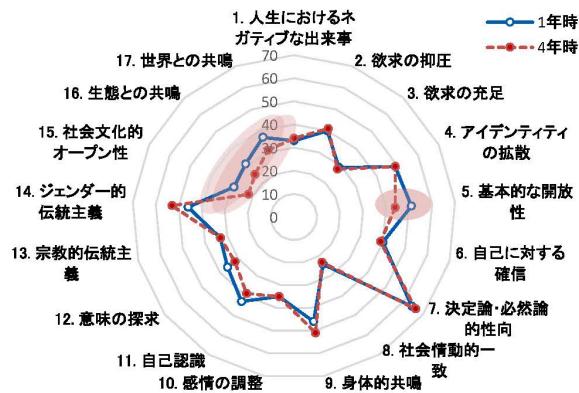
他者や世界との関わりに無関心、保守的、内向きな傾向

2021年度1年生が2024年度に4年生になった。1年次と4年次の両方BEVIを受検した学生（305名、全4年生の18.0%）を対象に、BEVIスコアの変化を確認

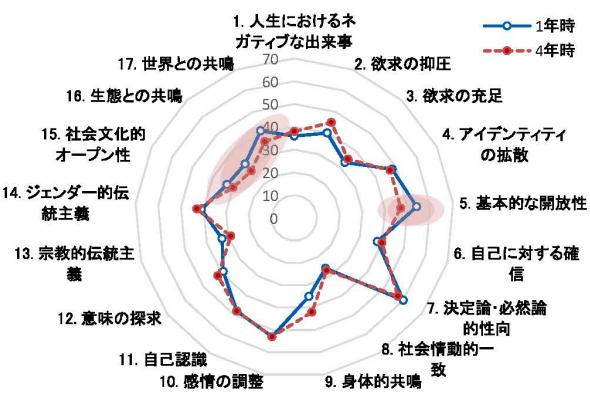
下のグラフの赤いエリアが、1年次と4年次の差が大きい

- 5. 根底的思考、感情のオープンさ
- 15. 社会や文化に進歩的/オープンな傾向
- 16. 環境問題/サステナビリティへの関心
- 17. 異文化への関心、受容性

2024年度4年生の1年次とのスコア比較：男性



女性



M. Ichimura, YNU 2025

謝辞

講師をお引き受けくださいました皆様、ならびにご参加くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。本セミナーは、文部科学省（2022年度）「大学の世界展開力強化事業」の助成により実施されました。ここに謝意を表します。

横浜国立大学 YOKOHAMA – SXIP企画・運営委員会
横浜国立大学 国際戦略推進機構

